

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	姫路医療生協	代表者	西村 哲範	法人・事業所の特徴	灘のけんか祭りで知られる、飾磨区妻鹿北部の静かな場所にある事業所です。 法人小規模多機能ホームの理念である「一人ひとりに寄り添う、地域に寄り添う」のもとに、住み慣れた地域で気持ちよく暮らしていけるよう、利用者の思いを大切に心を込めて支援いたします。
事業所名	小規模多機能ホーム めが	管理者	菊地 華代		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	2 人	人	人	1 人	人	2 人	人	5 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			事業所評価を行うにあたり、意味の分からない言葉があった。注釈をつける等があれば良い。	個別ケアについて全職員が理解を深め実践していく。
B. 事業所のしつらえ・環境				介護に関する相談窓口として認知されるような掲示を行っていく。
C. 事業所と地域のかかわり	交通安全を心掛ける。地域の環境に応じた運転を安全第一に行う。	社有車の物損事故 2 件。事故に関して振り返りを行い、全職員で共有している	飾磨高校のボランティアの内容は？と質問あり（高校の校歌を歌ってくれた、利用者とのコミュニケーション）	危険の多い地域環境に応じた安全運転を心掛ける。ボランティア等を積極的に受け入れる。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域のイベントが開催された場合には感染対策を講じ、参加する。	10 月秋祭りの休憩場所提供。事業所前で屋台練りの観覧が出来た。		地域のイベントが開催された場合には感染対策を講じ、利用者に参加していただく
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議への家族・利用者参加を呼び掛ける	参加呼び掛けを 1 家族に行ったが不参加であった。	事業所や地域の情報について適宜連絡をいただいている。今後も情報共有をお願いします（包括）	運営推進会議への参加呼び掛け。
F. 事業所の防災・災害対策	垂直訓練を継続して行う。	消防訓練 2 回、3 階までの垂直訓練 1 回実施		垂直訓練を継続して行う。 非常食の点検・見直しを行う。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2025/1/15
1. 初期支援（はじめのかかわり）	メンバー	5 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	8 人	5 人	1 人	14 人

前回の改善計画	家族の意向よりも本人の希望を確認していく。必要なサービスの検討とともに不必要なサービスがはいっていないかも検討する
前回の改善計画に対する取組み結果	日々の利用者との関わりから本人の希望を確認し、サービス内容に反映できるように考えているがどうしても主介護者の意向でサービスが決まってしまうことがあった

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	2	10	2		14
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	2	10	2		14
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	3	7	4		14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	2	8	3	1	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・サービス開始前の面談で困りごとの把握に努めている ・利用開始時の緊張や不安をほぐすような関わりをしている ・利用開始前に可能な限り詳細なアセスメントをとりカルテや動画などで情報共有している ・新規利用者に対する気づきを共有、記録に残している	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・小多機利用に至る間での経緯を知らない ・利用者（特に新規の方）を知ろうとする意識に職員間で差がある ・利用者の不安や困りごとをどう受け止めたらいいいのか分からない ・入職間もない職員は特にカルテからしか情報が取れていない家族との関わりが持てていない	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
・利用開始前に情報を読み込む時間を全職員持つ（業務内で時間を確保する）	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2025/1/15
2.「～したい」の実現（自己実現の尊重）	メンバー	5名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	－人	8人	5人	1人	14人

前回の改善計画	・利用者の目標、望む暮らしについて共有し利用者と会話する時間をもつ ・部会等で話し合い、利用者の目標について理解を深める
前回の改善計画に対する取組み結果	・利用者と会話する時間を持てるよう意識が出来ている（時間を生み出す工夫、職員間で差あり） ・部会等で話し合いは持てているが利用者の目標に対してよりも日々のケアについてになっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	－	6	6	2	14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	－	8	4	2	14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？		5	7	2	14
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	1	7	5	2	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・短い時間でも利用者の思いに触れる深い話が出来ている（意識の深い職員の心掛け） ・前年度は利用者の「〇〇したい」「〇〇に行きたい」にフォーカスした外出レクを行った（職員の提案） ・初回面談やモニタリングを通じ目標を把握している（CM） ・部会での看護の観点からの利用者情報の伝達（NS） ・申し送りや部会での意見交換	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・本人のゴールを知らない、目標の理解が出来ていない（日々の業務に不可欠ではないから？） ・利用者の背景を把握出来ていない（情報を自ら取りに行く意識が薄い） ・すべての利用者が思いを表出できるわけではなく、家族、介助者の思いの方が前面に出た支援になっている ・利用者が意欲を持てるような声掛けができていない（声掛け自体を難しいと感じてしまう）	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・利用者の望む暮らしを知り職員間で共有し、必要なサービスを検討する	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2025/1/15
3. 日常生活の支援	メンバー	5 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2 人	9 人	3 人	－ 人	14 人

前回の改善計画	・小さな変化や思いを汲みとれる観察力を身につける ・利用者に適した介助方法について意見交換し、統一した介助を実践する
前回の改善計画に対する取組み結果	・利用者の状態や、変化の内容がわかる的確な支援記録を残すよう意識しているが職員の意識に差がある ・利用者介助については統一出来ていない部分もある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	－	4	5	5	14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	4	8	2		14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	1	7	3	3	14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	4	9	1	－	14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	3	9	1	1	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・介助方法について本人の負担にならない方法を検討している ・利用者の状況に合わせて支援を検討、実践している ・利用者の思いを汲みとり、無理強いのないように行動している	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・本人の思いを言語化することがむずかしい ・以前の暮らし 10 個以上は把握出来ていない	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・利用者にとってベストな方法を考慮しながら介助を行う	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2025/1/15
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	5 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	－ 人	6 人	6 人	2 人	14 人

前回の改善計画	まず地域資源とは何かを知る。事業所に関連するサービスで過剰に賄わず、なじみの理髪店に継続して通っていただく等も検討する
前回の改善計画に対する取組み結果	地域資源について知る機会（研修等）ができていない。今事業所の行なっているサービスで地域資源に移行できそうなことが考えられず、それ故家族への提案も出来ていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	－	5	8	1	14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？		8	3	3	14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	－	7	4	3	14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	－	3	6	5	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・ 自宅での過ごし方について面談やモニタリング時に家族に確認し、職員間で共有出来ている。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・ 社会資源の把握が出来ていない。 ・ 地域との関係構築が不十分
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) ・ 利用者を取りまく地域資源について学ぶ（部内研修の開催）
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2025/1/15
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	5 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2 人	7 人	3 人	2 人	14 人

前回の改善計画	・利用者の課題点に対応したサービスを第一に考えて提案する ・提案するサービスを数パターン検討する
前回の改善計画に対する取組み結果	・サービス変更時等、本人や家族の希望を聞きながらプランを提案しているが家族の意向に重きが置かれがちになる

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	1	7	4	2	14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	5	6	1	2	14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	4	9	1	—	14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	5	6	2	1	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・本人や家族の課題や困りごとを把握した上での小規模のサービス提案を行っている ・利用者の変化に対して都度相談、改善を行い、部会でも話し合っている ・職員の視点や気づきを踏まえたサービスの検討、提案を行えている	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域資源を把握できていない ・事業所やフォーマルサービスで解決しようとしてしまう ・事業所の役割について職員の理解が不足している	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・利用者の意向を反映した支援を提案する ・なぜこの利用者にとってこの支援を行うのかを知る	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2025/1/15
6. 連携・協働	メンバー	5 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	3 人	2 人	9 人	14 人

前回の改善計画	感染症に対して法人の指針に従ってイベント開催や参加をしていく
前回の改善計画に対する取組み結果	・イベント企画・開催行えず

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	3	3	1	7	14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	3	1	9	14
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1	2	3	8	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		1	2	12	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ 必要時、担当者会議を行っている（医療機関、福祉用具、訪問看護との連携） ・ 学生の職場体験や実習の受け入れを行い、事業所のサービスについて知ってもらう機会が持てた ・ 事業体の看護師会議や往診看護師との会議参加 ・ 事業所として 2 ヶ月に 1 回の運営推進会議の開催	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ 地域との関わりの機会を持つことがほとんどなかった ・ 事業所主体のイベント開催が行えなかった	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・ 事業所を知っていただく取り組みを行う（事業所見学会、介護に関する学習会等）	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2025/1/15
7. 運営	メンバー	5 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	3 人	4 人	4 人	3 人	14 人

前回の改善計画	・地域の交流の場としてイベント開催を企画する ・運営推進会議への家族参加を呼びかける
前回の改善計画に対する取組み結果	イベント開催企画できず。 運営推進会議への呼びかけは1家族のみ（参加には至らず）

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	2	8		4	14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	4	6	1	3	14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1	6		7	14
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか？		5	3	6	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・意見や苦情を受け止め、振り返りや対応を検討している ・利用者や家族からの意見は職員間で共有し、サービス内容に繋げている	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・イベントの企画・開催 ・地域行事への参加 ・地域住民との交流の機会が持てていない	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・運営推進会議への家族参加を呼び掛ける（毎回2家族に呼びかける）	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2025/1/15
8. 質を向上するための取組み	メンバー	5 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1 人	8 人	2 人	3 人	14 人

前回の改善計画	リスクマネジメントの学習会を行う。同じインシデントの繰り返しを防ぐ。必要であれば職員個人に指導を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	部会等でインシデントの共有を行い、リスクマネジメントについて学んでいる。 必要時には個人指導も行っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	2	6	2	4	14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	6	3	4	14
③	地域連絡会に参加していますか		3	1	10	14
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	9	3	1	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ B C P の確認 ・ 部内研修の参加 ・ 部会にてアクシデントインシデントの振り返りをしている ・ 各研修参加（本年度 認知症実戦者研修 喀痰吸引研修）	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ アクシデントインシデントの報告が生かせていない（同様案件の繰り返しがある） ・ リスクマネジメント取り組みへの意識に差がある	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
・ 部会での勉強会の継続とスキルアップの為の外部研修の参加を行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2025/1/15

9. 人権・プライバシー

メンバー 5 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	7 人	6 人	1 人	人	14 人

前回の改善計画	身体拘束や虐待についての学習会を継続する
前回の改善計画に対する取組み結果	部内研修で学習会実施

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	12	2			14
②	虐待は行われていない	12	2			14
③	プライバシーが守られている	5	9			14
④	必要な方に成年後見制度を活用している			1	13	14
⑤	適正な個人情報の管理ができている	9	5			14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
- 声掛けの仕方、声のトーンについて意識している - 職員間で注意が出来ている - トイレや居室浴室のドアをきちんと閉め、プライバシー保護が出来ている - 部会等で身体拘束について学習している	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
- 意識が緩むと声が大きくなったり口調が強くなることもある - 排泄の声掛けの仕方に配慮が足りない場面がある - 成年後見人制度が「必要な方がいない - プライバシー保護に関して職員間の意識の差がある	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
- 職員間で注意が行える関係づくり - 身体拘束・虐待についての学習会継続（具体的な事案について検討する）	